

「出会い」シリーズ ① 和田ながら × 新垣七奈

## ジャン・コクトー『声』イベント

# 【戯曲】に出会い【演劇】に触れる会

「戯曲」とは、文学の一ジャンルで、主に「台詞」と「ト書き」で構成されているお芝居の「台本」や「脚本」のことです。

舞台の演出家はそこから情景や物語の構造を読み解きながら、演劇を立ち上げていきます。

10月21日、22日になはーとで上演する『声』は、20世紀の代表的なフランスの作家、ジャン・コクトー（1886-1963）によって書かれ、1930年の初演以来、演劇だけでなく、オペラや映画など様々な手法で上演されてきた戯曲です。

この戯曲から演出家は何を読み解き、どうやって演劇を作り上げていくのか！？戯曲の一部を演出家・劇作家と一緒に読み、演劇の創作過程に触れてみます。

日時

10月5日（木）  
19：00～21：00

場所

ジュンク堂書店 那覇店  
地下1階イベントスペース  
(那覇市牧志1-19-29)

定員：10名（先着順）  
対象者：16歳以上（演劇経験は問いません）  
参加費：無料  
申し込み方法：フォームよりお申し込みください  
問い合わせ：098-861-7810 / nahart@city.naha.lg.jp

申し込みフォーム



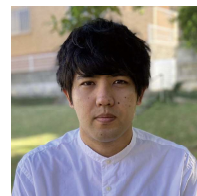
ナビゲーター

和田ながら / 演出家



1987年生まれ。京都造形芸術大学芸術学部映像・舞台芸術学科卒業。同大学大学院修士課程修了。2011年2月に自身のユニット「したため」を立ち上げ京都を拠点に活動。主な作品に、作家・多和田葉子の小説を舞台化した『文字移植』や『祖母の退化論』、妊娠・出産を未経験者たちが演じる『擬婉』などがある。美術、写真、音楽、建築など異なる領域のアーティストとも共同作業を行う。NPO法人京都舞台芸術協会理事長。

兼島拓也 / 劇作家



1989年、沖縄市出身。演劇グループ「チョコ泥棒」および「玉どろぼう」主宰。主に沖縄県内で演劇活動を行い、沖縄の若者言葉を用いたコメディやミステリなどのオリジナル作品を創作している。2022年、『ライカムで待っとく』（KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース）で、第30回読売演劇大賞優秀作品賞を受賞。同作で第26回鶴屋南北戯曲賞および第67回岸田國士戯曲賞の最終候補となる。

ジャン・コクトー『声』【チケット販売中】  
10月21日（土）19：00 / 10月22日（日）14：00  
那覇文化芸術劇場なはーと（3階）大スタジオ  
一般 2,500円 U24（24歳以下）1,500円 \*当日500円増  
障害者割引有 詳細はなはーとHPで！